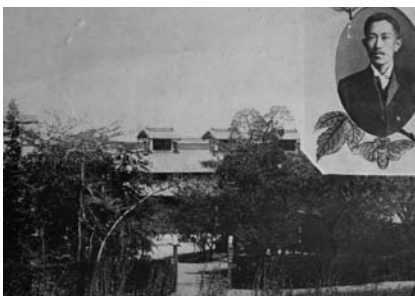


競進社の分教場と支部伝習所

木村九蔵は新宿村の自宅を競進社本社にして活動を始めたが、その後、競進社に入社を希望するものが多く、本社を児玉町に設置した児玉養蚕伝習所に移し、自宅を第一分教場とし、有力社員である浦部良太郎・木村豊太郎・浅見平三郎の家を第二・第三・第四分教場とし、大正期までには群馬県や長野県にも合わせて9箇所の分教場が設置された。さらに児玉地域以外からの要望には、教授員や巡回指導員を派遣したり、その地に競進社伝習所支部を開設した。最初の支部は茨城県西茨城郡南川根村（現笠間市）に設けられ、競進社第一支部伝習所となった。以後、大正期には支部の数は第19支部まで増加し、支部の所在地は埼玉県・茨城県・群馬県・静岡県・宮城県・京都府・山形県・和歌山県に設置された。また教授員は県内各所のほか、東京府・群馬県・神奈川県・茨城県・栃木県・千葉県・静岡県・宮城県・宮崎県（以上明治27年度）、以後も増加し、福井県・山梨県・三重県（明治28年度）、和歌山県・長崎県（明治30年度）、徳島県（明治31年度）、兵庫県・鹿児島県・岩手県・岡山県（明治32年度）、愛知県（明治33年度）、熊本県・岐阜県（明治34年度）、石川県（明治37年度）、新潟県・長野県・福島県・佐賀県・秋田県（明治44年度）、島根県（明治45年度）、奈良県（大正3年）の1府29県へ派遣している。



（児玉白楊高等学校所蔵写真）

児玉郡青柳村新宿（現神川町）の木村九蔵の自宅で、明治10年（1877）に養蚕改良競進組の拠点としてスタートし、明治17年（1884）には競進社本社となった。その後、児玉町の競進社伝習所に本部を移転してからは、競進社第一分教場になった。写真の人物は二代目の木村九蔵。



（児玉白楊高等学校・神川町教育委員会所蔵写真）



左側写真は九蔵没後二代社長となった浦部良太郎と自宅兼競進社第2分教場である。右の写真は木村九蔵の甥で、競進社の幹部でもあった木村豊太郎の自宅である。競進社の第3分教場であった。ともに青柳村新宿（現在の神川町）にあった。

競進社の伝習所は競進社の運営の中心を担った浦部良太郎と木村豊太郎の伝習所のほかにも児玉町児玉にあった競進社第4分教場の蚕室館（場長は浅見平三郎。敷地には大型の蚕室3棟があった）や福井県や徳島県にも競進社の指導を受けた伝習所がありそれぞれ競進社流の蚕室が建てられた。四国の徳島県七条養蚕伝習所の写真が残されている。



競進社第4分教場と場長の浅見平三郎氏

（児玉浅見家・児玉白楊高等学校所蔵写真）



徳島県にあった七条養蚕伝習場の蚕室

